

武蔵野美術大学 × サミット

「誰もが持ちたくなるエコバッグ」の開発へ 武蔵野美術大学と連携プロジェクト始動

弊社は、創業55周年記念事業の一つとして、武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市）と連携し、「サミットエコバッグデザインプロジェクト」を2018年4月23日に立ち上げました。

このプロジェクトは、武蔵野美術大学 芸術文化学科（西中 賢教授、楫 義明教授）の科目「アーツプロジェクト」にて、15名の学生が1年をかけて機能面も含めた弊社オリジナルエコバッグのトータルデザインを創りあげます。

「若い世代の視点からエコバッグデザインの新たな可能性を探る」ことをテーマに、弊社の企業文化や、スーパー・マーケットにおける人・商品・売場等をリサーチし、エコバッグ利用に関する様々な消費文化を考察することで、新たなサミットオリジナルエコバッグのデザインに産学協同で取り組みます。

1. 背景

サミットは、廃棄物の削減の観点からレジ袋の削減に積極的に取り組んでいます。

今回、これを推し進めるべく、「誰もが持ちたくなるエコバッグをデザインする」という、一見、不可能とも思える難題に、弊社商圈で活躍されている武蔵野美術大学 芸術文化学科のプロジェクトメンバーの皆さんと、一年間共に取り組むことに致しました。

2. 今後の予定

4月～8月	調査、デザイン検討
9月～12月	サンプル制作およびプレゼンテーション
2019年度中	商品化（サミットストア店頭にて販売を予定）

3. 武蔵野美術大学 芸術文化学科のホームページ <http://apm.musabi.ac.jp/>



キックオフミーティングの様子

以上